



うりゅう

こんにちは 議会であ

発行／雨竜町議会 編集／議会広報広聴特別委員会



(4/8春の全国交通安全運動～雨竜小学校・雨竜中学校 前)



●定例会の審議結果	P2～3
●一般質問 3名の議員が質問	P4～6
●令和7年度 町の一般会計予算	P7
●特別委員会報告 令和7年予算審査特別委員会質疑応答	P8～10
●行政常任委員会所管事務調査報告	P11

令和7年 第1回定例会 審議結果

(開催日程：令和7年3月4日～12日)

議案番号	議 件 名	結 果
第2号～ 第14号	負担付きの寄附の受納について	原 案 可 決
第15号	雨竜町水泳プールを管理する指定管理者の指定期間の変更について (雨竜町水泳プールの施設利用休止に伴い、現行の指定管理者の指定期間を変更するもの)	原 案 可 決
第16号	令和6年度雨竜町一般会計補正予算(第7号) (3,921万8千円を減額し、総額44億1,317万3千円とする)	原 案 可 決
第17号	令和6年度雨竜町国民健康保険特別会計補正予算(第1号) (265万9千円を減額し、総額1億4,699万6千円とする)	原 案 可 決
第18号	令和6年度雨竜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) (246万1千円を減額し、総額4,717万7千円とする)	原 案 可 決
第19号	令和6年度雨竜町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号) (2,803万7千円を減額し、総額2億630万9千円とする)	原 案 可 決
第20号	雨竜町ふれあいセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について (公共施設管理方法の変更に伴い、本条例の一部を改正するもの)	原 案 可 決
第21号	雨竜町さわやかトイレの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について (公共施設管理方法の変更に伴い、本条例の一部を改正するもの)	原 案 可 決
第22号	雨竜町いきいき元気村の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について (公共施設管理方法の変更に伴い、本条例の一部を改正するもの)	原 案 可 決
第23号	雨竜町農業集落排水事業特別会計条例を廃止する条例の制定について (農業集落排水事業に公営企業法の財務規定等の適用に伴い、本条例を廃止するもの)	原 案 可 決
第24号	滝川市と雨竜町における電子情報処理組織による戸籍等事務に関する事務の委託に関する規約の一部を変更する規約について (戸籍事務における標準準拠システムへの移行に伴い、本規約を変更するもの)	原 案 可 決
第25号	雨竜町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について (期末手当・勤勉手当の支給率の変更に伴い、本条例を改正するもの)	原 案 可 決
第26号	令和7年度雨竜町一般会計予算	原 案 可 決

議案番号	議 件 名	結 果
第27号	令和7年度雨竜町国民健康保険特別会計予算	原 案 可 決
第28号	令和7年度雨竜町後期高齢者医療特別会計予算	原 案 可 決
第29号	令和7年度雨竜町農業集落排水事業会計予算	原 案 可 決
第30号	雨竜町犯罪被害者等支援条例の制定について (犯罪被害者等への支援を目的とした基本事項を定めるもの)	原 案 可 決
第31号	雨竜町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について (育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正に伴い、本条例の一部を改正するもの)	原 案 可 決
第32号	雨竜町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について (育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正に伴い、本条例の一部を改正するもの)	原 案 可 決
発 議 第1号	雨竜町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について (行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、本条例の一部を改正するもの)	原 案 可 決

令和6年度雨竜町一般会計補正予算（第7号）

3,921万8千円を減額し、総額44億1,317万3千円とする（P. 2 議案第16号の歳出の主な内容）

総 務 費	ふるさと納税返礼品代	5,500,000円
総 務 費	ふるさと納税取扱等手数料	2,500,000円
総 務 費	中空知生活交通確保対策負担金	7,297,000円
総 務 費	住まいる定住促進事業補助金	△5,329,000円
総 務 費	防災行政無線整備業務委託料	△45,000,000円
総 務 費	低所得者支援給付・定額減税調整給付金	△3,357,000円
衛 生 費	新型コロナワクチン予防接種費用助成金	△3,608,000円
農林水産業費	ライスコンビナート改修工事費	△10,175,000円
農林水産業費	暑寒メロン生産資材補助金	△3,078,000円
農林水産業費	農地整備事業負担金	△5,218,000円
農林水産業費	うりゅう農業後継者未来応援金事業助成金	△6,100,000円
商 工 費	うりゅう商店街元気づくり活性化事業補助金	△3,274,000円
土 木 費	町道整備工事費	△7,200,000円
土 木 費	排水路補修工事費	△22,000,000円
土 木 費	わかば団地建替等工事費	△6,455,000円

令和7年第1回定例会一般質問

3名の議員が町政執行に対し、

一般質問をしました

（内容を一部要約
しております）



吉見議員

問 次期雨竜町総合基本
計画の考え方は

答 町民アンケートを基に子育て世帯や若者の意見を取り入れ、健全な財政を維持しつつ、子育ての教育環境整備、産業、雇用の振興・福祉の充実の施策を計画の柱としていきたい

質問

本町の人口は、現在の計画が策定された2015年には2,681人でありましたが、本年2月末には2,036人にまで減少が加速しています。次期計画策定においては、町民や児童・生徒へのアンケートなどを通じて、広く意見を反映させた計画策定に取り組ま

れていくところですが、町政執行方針の中でも、人口減少・少子高齢化・都市部への人口流出といった課題など、これまでの施策を検証し次の10年を見据えた持続可能なまちづくりのビジョンをどのように考えているのか伺います。

町長

令和8年からの雨竜町振興基本計画に向けて、昨年末に町民の皆さんを対象にアンケート調査を実施させていただき、アンケートの結果やご意見また関係機関、各団体のご要望などを令和7年度中に整理し、町の財政推計を行いながら基幹産業である農業の振興、商工業振興、公共交通確保、公共施設の適正な維持管理、インフラ整備さらには教育や福祉の施策などを総合的に網羅した新たな計画を策定していきます。

急激に人口減少、少子高齢化が向かう中で持続可能なまちづくりを創造するには、移住定住施策、

子育て支援、雇用の場の確保などが重要となりますが、少しでもこれからの人口減少を緩やかなものにしていくために、いかにして雨竜の特徴を引き出し、強みを伸ばし、他の「まち」にはないものを磨き、今はないものをつくり出し、新しい人を呼び込めるかと思えます。新しい雨竜を創造するプランをつくり上げる思いを込めて、職員と共に一緒に汗をかいて取り組んでまいりたい。

再質問

白川町長が掲げる、子どもたちに夢を、若者に希望を、お年寄りには安心とある未来に向けた考えについて再度伺います。

町長

この計画は、町の総合的かつ計画的な行政運営の指針を示す長期的なまちづくりの展望を町民と共有する最上位計画となり、未来を見据えた持続可能なまちづくりに重点を置き、地域の特性を生かした目標を定めてまいります。

計画の基本となるのは、何よりも健全な財政運営を維持が必須であり、今を任された者の責任であります。無限の可能性を秘めている子どもたちが夢に向かって挑戦

することができるよう教育、子育ての環境整備、新規就農者や農業、商工業の後継者、町内事業所で働く若者などが希望を持つて働き、生活できる産業、雇用の振興や、お年寄りが住み慣れたこの町で安心して住み続けられるように福祉の充実を図る施策を、計画の柱としていきたいと考えております。

再々質問

人口減少など多くの課題があるところだが、健全財政を維持しつつ、幅広い意見を取り入れ、10年後もこの町に住み続けたい、子どもたちに夢を、若者に希望を、お年寄りには安心を感じられる計画の策定に期待しています。

町長

私の政治信条としている「子どもたちに夢を」ということが最初に出てきておりますので、子育て世帯の皆さんの声を十分参考にさせていただき、将来を担う子どもたちや、子育て世代の皆さんや若い人たちの声が計画の一番の基本になると考えておりますので、よりよい計画になるように皆さんのご協力も併せてお願い申し上げます。



野村議員

問 防災サポーターの導入の考えは

答 雨竜町地域防災計画により役割を定め、災害時の連携協力を図ることで防災サポーターの役割を担っている

質問

地震や豪雨等の自然災害をはじめ、様々な危険への対策と地域住民を守る安全確保は重要で、特に避難行動要支援者への対応は地域社会全体の責任であると考えます。雨竜町防災計画や雨竜町国民保護計画等により、災害対策本部、避難所設営及び運営などの対応が定められ、訓練がされているところですが、実際の災害時には住民の予想もしない混乱が想定されます。町職員だけでは対応が困難であったり、町内会のつながりも薄くなっている地域もある中、災害対策本部と住民との橋渡し役、避難所や避難者の対応をしていただけることでスムーズな対応につながる

ことから登録制の「防災サポーター」を導入することが望ましいのではないかと考えますが町長の考えを伺います。

町長

災害は多岐にわたり、予想もしない災害が本町でも起こり得る可能性があります。備えや防災に係る意識の向上は重要であることは再認識しているところであり、災害時に頼れるリーダーとして防災サポーターを導入している自治体があることは承知しております。

また、登録制であることから、登録される方は、防災対策意識が高く、即戦力として期待されております。活動内容として、防災に対する知識、技能の習得、防災士を普及、啓発、避難所の開設や運営などが考えられます。

本町における対応としては、雨竜町災害時等避難行動要支援者登録名簿を作成して町内会長に渡し、災害時の連携協力についてのお願いをしているところであります。また、雨竜町地域防災計画や避難所運営マニュアルにおいて、役割を定めて災害時の混乱をなるべく防いでいくという対策を取っているところであります。さらには、防災ボランティアと連携して

雨竜町社会福祉協議会で設置する雨竜町災害ボランティアセンターや日赤、日本赤十字社との協力もあり、本町の防災サポーターとしての役割を担っていると考えております。引き続き、町内会、関係機関、町民を対象とした訓練等を実施し、自助、共助における防災に対する意識向上と連携強化に努めてまいりたいと考えております。

再質問

災害を想定し、町、消防、警察等による共同の訓練や、町で備えている防災備品を確認する、使用してみることは町民の安心につながると考えます。今後の訓練や研修について再度伺います。

町長

令和2年に職員を対象に、合同訓練や気象防災ワークショップ、小中学校での一日防災学校などを実施してきました。令和7年におきましても町内会や各団体への訓練の呼びかけを行っているところであり、専門的な内容の研修会を開催できないか調整しているところであります。今後も多くの方の町民に関心をもってもらい、災害への備えの基本となる自助、共助に重点をおき、意識向上を進めて行き

ます。また、必要に応じて、現在の防災備蓄品、訓練内容、ハザードマップ、要避難者の対応等を広報やホームページで掲載し、皆さんが防災意識を高められるよう取り組みでいきたいと考えております。



令和4年に開催された第8・9町内合同訓練の様子



須見議員

問 白川町政一期目の折返しをどのように進めるのか

答 持続可能な行財政運営が進むように財政の健全化を第一に考えていく

質問

白川町長が就任され、2年が経とうとしております。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、各種制限が緩和となりましたが、決して安心できる状況ではなく、先が見えない中、町長は感染対策と経済の停滞などを最小限に食い止める対応に尽力されました。令和7年度町政執行方針の中に述べられている少子高齢化の急速な進行や住民生活では生活物資などの価格高騰が家計を圧迫している中、産業振興と経済対策、また住民生活、福祉の向上、教育予算の確保など、就任から2年、町長の思いが政策に反映されたのか、どのような思いを持たれたのか伺います。

町長

平成28年度に策定された第5次雨竜町長期振興計画に沿って基幹産業である農業政策を中心に商工業の振興、教育、福祉の充実など、従来の各種施策を継承しつつ事業内容の拡充を図りながら健全な財政運営を心がけてきたところでありますが、エネルギー価格や諸物価の高騰など生活不安に拍車がかかっている状況にあり、町内においては、事業所の閉鎖が相次ぐ中、新しい取組や新たな農業後継者、新規就農者も生まれ、育ってきております。

継続事業を優先しながら進めてきましたが、新たな取組に対する施策を組み立てたものの結果は伴っていないと感じているほか、農業の基盤整備が進みましたが、その一方で定住対策などの施策の効果が現れていないというふうに思っております。これは町政を任されている以上、結果を出すことが求められておりますので、行政運営の厳しさを改めて痛感しております。

再質問

雨竜町の令和7年度予算においても、依然として経常経費の比率は高く、これから予定される国営

農地再編整備事業、暑寒ダム、2期地区事業等の償還など小規模自治体にとっては厳しい財政運営が強いられる中で、町長は持続的な発展のために定住促進事業をはじめとする各種政策を推進されております。これらを一層効果のあるものとするためには、まずは住んでいる住民にとって「まち」が魅力的に見えること、次に地域に住んで楽しい、そして生活には安心、安全を感じる暮らしが送られることが大切と考えております。

任期4年のうち折返しを迎えた今後2年間どのような方向性を持って町政を前に進めるのか、再度伺います。

町長

国営農地緊急再編整備事業等の完成とともに、これらの事業の償還が始まります。私の任期折返しの時期に本町にとっては大きな財政出動が始まり、ここをしっかりと対応していくことが何より重要でこれからの雨竜町の行財政運営を大きく左右するターニングポイントになるというふうに認識しており、私に残された任期は次の時代へ健全な財政を継承していくための大切な2年間であると考えております。

また、令和7年度は新たな長期計画を策定する年にあたり、ご指摘のとおり、住んでいる住民にとって「まち」が魅力的に見える、地域に住んで楽しく、安心、安全な生活を感じ、送ることができるよう人口減少、少子高齢化が進むこれからの将来を見据えて任期残り2年間持続可能なまちづくりへとつなげていけるようにしっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

再々質問

今後の雨竜町の行財政運営が重要課題となり得るならばさらに厳しい現状が想定されます。折返しを迎えた中で、今後の諸課題などを迎えた中で、今後の諸課題など時代背景に合った議論を重ね、令和8年からスタートをする第6次雨竜町長期振興計画とともに持続可能なまちづくりを行い、さらなる期待をしております。

町長

厳しい財政であることは間違いありませんので、将来にわたって持続可能な行財政運営を進めていけるように今は財政の健全化を第一に考えております。

◆令和7年度 一般会計予算◆

38億5,000万円

令和7年度各会計予算は、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会に付託され、令和7年3月4日、5日、10日の3日間、委員会を開催し審査しました。

委員会終了後、予算は本会議で審議し原案のとおり可決されました。

歳 入

	項 目	金 額	比 率
自主財源	町 税	2億1,693万9千円	5.6%
	諸 収 入	1億5,284万2千円	4.0%
	負担金・使用料・手数料	1億9,170万円	5.0%
	繰 越 金	10千円	0.0%
	財産収入・寄附金・繰入金	7億2,013万9千円	18.7%
	計（A）	12億8,163万円	33.3%
依存財源	地 方 交 付 税	16億6千万円	43.1%
	国 庫 支 出 金	2億1,124万9千円	5.5%
	道 支 出 金	3億6,632万7千円	9.5%
	町 債	2億3,170万円	6.0%
	各 種 交 付 金	5,632万円	1.5%
	地 方 譲 与 税	4,277万4千円	1.1%
	計（B）	25億6,837万円	66.7%
歳入合計（A+B）		38億5千万円	100.0%

歳 出

項 目	金 額	比 率
議 会 費	3,406万7千円	0.9%
総 務 費	6億5,562万9千円	17.0%
民 生 費	5億2,639万9千円	13.7%
衛 生 費	2億9,584万1千円	7.7%
農 林 水 産 業 費	5億1,595万4千円	13.4%
商 工 費	8,694万円	2.3%
土 木 費	4億841万9千円	10.6%
消 防 費	1億2,518万2千円	3.3%
教 育 費	2億599万4千円	5.4%
公 債 費	5億2,722万円	13.7%
職 員 費	4億6,208万7千円	12.0%
労働費・災害復旧費・予備費	626万8千円	0.2%
歳出合計	38億5千万円	100.0%

総括質問 沖田副委員長

【質問】

財源不足の中、拡充できるものは拡充しながら、地方債の繰上償還等、さらなる財政の健全化についての進め方は。また、予算執行していくにあたり、各委員から出た質問に少しでも答えられるような行政であってほしい。

【回答】

財政的に余裕がないと繰上償還はできませんが、近年はそれを最優先にして、今後借りなければならぬ大きな借入れのために負担を少なくしていく。投資的経費は制限せざるを得ない状況にありますが、優先すべき課題にしっかりと対応していくため健全財政を続けていきたいと考えております。また、予算の効果がしっかりと現れるよう職員共々知恵を絞って、より良い予算の執行を進めて行きたい。

予算審査特別委員会質疑応答

●委員

委員長	須見栄一
副委員長	沖田浩一
委員	吉佐々木徹
委員	吉本周
委員	吉村啓
委員	野村耕次郎

●オブザーバー

竹ヶ原 利 明

総務費

記念誌の発行に向けて

野村委員

【質問】

記念誌の編さん事業をすすめていること
と思うが、現在の進捗状況は。

【回答】

平成28年に発行した雨竜町百年史続編以
降の平成27年以降のデータについて、一つ
の項目に対し前後のいきさつ等まとめなが
ら進めている状況である。

総務費

うりゅうすまいるコンサー トの内容は 吉見委員

【質問】

札幌交響楽団を招致して開催するとのこと
だが、時期や町内各団体との連携も行い
取り進めては。

【回答】

開催については8月上旬で計画しており、
今後実行委員会を組織し商工会等の各団体
とも協議し、単なる音楽イベントではなく
地域全体の活性化につながるイベントにな
るよう進めていきたい。

総務費

公有林で伐採した木材の 活用方法は 佐々木委員

【質問】

新設の林道を使用し、主伐工事を今年度
新規に行うが、搬出された木材の販路は、
どのように考えているのか。

【回答】

北空知森林組合を通して、バイオマス発
電所に積極的に搬出する形を取りたい。

総務費

地域おこし協力隊の募集 要項は 吉本委員

【質問】

地域おこし協力隊の募集をフリーミッシ
ョンに加えて、目的を絞った募集も考えて
は。

【回答】

ここ数年はフリーミッションでの募集で
あったが、今後はフリーミッションの他に
ターゲットを絞った形での募集も関係機関
と協議しながら進めていきたい。

総務費

地域おこし協力隊員の募集 方法の再考を 木村委員

【質問】

現在の応募・採用がないという状況の分
析と目的に合致した人材を迎えることがで
きる採用方針の転換も必要ではないか。

【回答】

全国的な人材不足の中で本町に採用がな
いという現状を理解している。フリーミッ
ションと雨竜町のニーズに合った形での採
用を関係団体と協議しながら進めていき
たい。

民生費

シルバーライナーの見直し を 木村委員

【質問】

利用者が月に数人という現状を踏まえ、
シルバーライナーから交通確保対策事業の
タクシー利用助成に移行できないか。

【回答】

雨竜町タクシー利用助成事業を利用する
と負担が増額することになり、現段階では
見直しを考慮していない。

衛生費

带状疱疹ワクチン接種に 関する詳細は 野村委員

【質問】

65歳以上の方が定期接種となる带状疱疹
ワクチンの種類と接種方法は。

【回答】

ワクチンは2種類あり、それぞれ接種回数・副反応・効果の持続期間が異なるほか、費用も一部助成であるため自己負担の額も異なり、選択は自己の判断となる。助成は対象年度限りとなるため、接種機会を逃すことのないよう対象者には個別に案内文を発送し十分周知していく。

商工費 さらなる特産品の開発・認定に向けて
野村委員

【質問】

特産品開発に取り組んでいる個人や団体に対し、認定につながるよう協議会における補助金の有効活用を。

【回答】

野菜などの加工品を製造・販売している方々に、今後特産品の認定申請について声掛けしていくとともに、特産品開発協議会の補助金を活用していただき認定につながるよう努めていきたい。

商工費 特産品のラインナップを今後見直してみても
吉見委員

【質問】

うりゅう米を使用したラインナップについて、今後の売れ行き等を考えた中で見直しを考えてみては。

【回答】

今後は原料となるうりゅう米の確保と製造単価の上昇に伴い、特産品協議会でも検討していく必要があると考えるが、ラインナップを減らさないよう考えていきたい。

商工費 道の駅の空きスペースの有効活用を
沖田委員

【質問】

道の駅でのイベントは町内外からの来場者が多く、現在空いている食堂の場所を、来場された方へのサービスや試食等のおもてなしとしての有効活用は考えられないのか。

【回答】

本来であればテナントの方に入っていたたけのが一番ですが、雨竜町振興公社と有効活用の方法を模索していきたい。

商工費 雨竜沼ラムサル条約登録20周年イベントの進め方は
吉見委員

【質問】

昨年の北海道遺産20周年イベントと同様な考え方なのか。また、町内で開催される他のイベントとの連携もしてみても。



【回答】

昨年同様に飲食店イベントやフォトメモリアルを考えているが、更なる内容を今後観光協会や各関係団体とも話を進めていき、より効果の大きいイベントにしていきたい。

土木費 排水機場の改修事業の今後は
吉本委員

【質問】

道営事業で進めている面白内・渭の津排水機場の改修事業の進捗状況は。

【回答】

面白内排水機場は令和7年度に計画樹立、令和8年度に実施設計し、翌年以降に着手の予定。また、渭の津排水機場については一年遅れで実施設計着手の計画で進んでいく予定。

土木費 公営住宅耐力度調査とは
吉見委員

【質問】

既存の公営住宅が今後も住み続けられるための調査なのか。それとも、今後大規模改修に耐えられるための調査なのか。

【回答】

今後の住宅整備において、選択肢を増やすための一つとして改修に耐えられるのかを確認する調査であり、耐力度調査を含め今後の住宅整備を進めていきたい。

土木費 わかば団地6棟目（F棟）

建設の見通し、第2満寿団地
解体の予定は 木村委員

【質問】

6棟目についてはいつごろ建設予定か。また、第2満寿団地解体の予定は。

【回答】

ここ数年の人員費・物価の高騰などにより見送っているが令和9年以降の計画を予定している。第2満寿団地の解体については6棟分予定している。

教育費 更新に伴う学校利用のタブレットの処分方法は 吉見委員

【質問】

台数も多いので使えるものは、整備し町民に再販売してもいいのでは。

【回答】

状態の良いものは校内での再利用を考えているが、町民に向けた再販売は考えていない。

教育費 タブレット活用状況は 吉本委員

【質問】

教員の指導能力向上の取り組みは。

【回答】

タブレットを導入して3年が経過して、校内で情報担当の教員を中心に校内研修でスキルの向上を図り、更に教員自らが効果的なタブレット授業の検討を行っている。

教育費 史跡公園内の管理について 佐々木委員

【質問】

今後の開拓記念館について、どの様に管理していくのか。

【回答】

都度、開拓記念館の状態を確認しながら、必要な場合は修繕を行う。

教育費 ジュニアスクールについて 吉本委員

【質問】

ジュニアスクール指定管理者の今後の体制は。

【回答】

指定管理者である指導者が不在の場合でも塾が続けられるように臨時講師等の対応を指定管理者と協議しながら進めていく。

教育費 社会体育事業の進め方は 佐々木委員

【質問】

ファイターズの元選手や、アルテミスの選手との運動教室を開催するようだが、どのような内容なのか。

【回答】

令和6年度同様、保育園児を対象に体力向上を目的とした教室を開催し、今後は小中学校まで対象を拡大していきたい。

教育費 トロント交流事業交付金の見直しは行ったのか 吉見委員

【質問】

昨年の決算審査特別委員会で事業を継続していくためにも今後見直しが必要ではないかと質問したが、見直しは行ったのか。

【回答】

協議は行ったが、見直しには至っていない。今後の情勢を見極め予算より大幅に増えた場合においては保護者の負担が過大にならないよう検討していきたい。

 議員とカフェ

議員と気軽に懇談できる場として「議員とカフェ」を不定期で開催しています。次回の開催日が決まりましたら新聞折込チラシ等でお知らせしますのでぜひお越しください。



行政常任委員会報告

令和7年第1回定例会までの閉会中に行った所管事務調査の内容を報告いたします。

期 日：令和7年2月7日（金）

＜調査事項＞ いきいき元気村の維持管理と運営（住民課所管）

いきいき元気村は、高齢者健康福祉センター「いきいき館」とパークゴルフ場が平成6年4月に運営を開始してから現在まで約30年間経過しており、施設の利用については、浴場や、大広間、会議室における各同好会、町内会での利用のほか、町の各種保健事業や介護事業も施設内で行われており、高齢者を含め、多くの町民が利用されている。パークゴルフ場もかつては、全日本選手権や全道大会なども行われていたが、競技人口の減少と共に利用者数も減少し、現在も年に数回の大会を開催している状況であるが、思うように利用者数が伸びていないのが現状である。

いきいき館の運営は、燃料高騰、物価上昇により経費が増大しているほか、今後大規模改修等を考えたとき、施設の利用料の改定も検討しなければならないが、利用料の改定は町民の負担につながり、公共浴場の観点からも今後見直しを検討する時期や改定額について見極める必要がある。また、パークゴルフ場の運営においても、利用者の状況を見ながら、いきいき館同様、利用料の改定、維持管理の方法について今後検討すべきと考える。

経費節減を考慮し、平成18年度から指定管理者制度を導入して施設管理を委託してきたが、制度を廃止し、令和7年度からは町直営での維持管理を進めていく事となるが、効率的な施設運営に向けての取り組みに今後期待している。

各施設とも人口減少に伴う利用者の推移などを重視され、今後も町民が安心して利用できるよう施設の維持管理に取り組まれない。

＜調査事項への質問(抜粋)＞

＜質問＞住民サービスは必要ではあるが、維持費の高騰も考え、今後の維持管理や利用状況を見ながら料金改定を検討すべきではないか
(沖田委員)

＜回答＞料金の改定のタイミングや、改定理由を明確にする説明責任もあるため、今は回答できないが、今後の維持管理や利用状況の動向を注視して考えていきたい

＜質問＞食堂撤退の後はどうに考えているのか。軽食等の自動販売機等を設置してもいいのではないか
(須見委員)

＜回答＞新たな営業希望事業者があれば協議に応じるが、自動販売機等は設置しても利用が見込めないため設置は難しいと考える

＜質問＞パークゴルフ利用者呼びこむための施策も必要ではないか。
(野村委員)

＜回答＞全国的に競技人口が減っている中で、本町でもパークゴルフ教室等を行っても問い合わせがない状況であり、呼び込む施策は難しいと考える



おもな議会のうごき (2月～4月)

2 月

3 日 行政常任委員会協議会
7 日 行政常任委員会
18 日 議会運営委員会
20 日 「議員とカフェ」

3 月

4～12日 第1回定例会
4・5・10日 予算審査特別委員会
7 日 雨竜高等養護学校卒業式
議会運営委員会
13 日 雨竜中学校卒業式 議長
19 日 雨竜小学校卒業式 議長
22 日 雨竜町保育園卒園式
議長
24 日 雨竜町農民協議会
第65回定期総会 副議長

27 日 雨竜暑寒地区工事安全
祈願祭 正副議長

4 月

1 日 雨竜町保育園入園式
議長
8 日 雨竜小中学校合同入学式
議長
9 日 雨竜高等養護学校入学式
議長
雨竜町老人クラブ連合会
定期総会 議長
10・15
21・24日 議会広報広聴特別委員会
24 日 第2回空知町村議会議長会
役員会(雨竜町) 議長
28 日 尾白利加ダム通水式
議長

よしみのコラム

昨年春とは違い融雪の進みも遅い中、今年もうりゅう米の作付けが始まっています。水田の耕起作業もすすみ、これから入水が本格的に始まると田植えが始まるまでの水田に映る月が綺麗な時期になってきますので、お時間がある夜にでも見てみるのもいかがでしょうか。

さて、私たち議員も任期中の折り返しを迎え残りの任期もと2年となりました。人口減少など課題もありますが、今進めている議会改革や町民の皆様に読んでいただける議会広報の紙面作成など、より身近に感じてもらえるよう、議会全体として町民感覚、町民視線を忘れず残りの任期を努めてまいります。



議会の人事

4月1日付の人事異動により、議会事務局職員の異動がありました。

- 議会事務局主任級主事 岩 塚 圭 輔
(出納室税務会計担当から)
- 前議会事務局主査 石 川 実砂希
(教育委員会事務局へ)

議会の傍聴を お待ちしております！

次回の定例会は **6月** に開催を予定しています。是非お気軽にお越しください。

議会広報広聴特別委員会

委員長	佐々木	徹
副委員長	沖田	浩一
副委員長	吉見	拓也
委員	野村	耕次郎
委員	吉本	周治
委員	木村	啓治